なかたのわ NaGaTanoWa
学校だより 演劇特集　2026. 11. 06 発行
金沢市立長田中学校　清水　憲之

第 79回演劇発表会

長田中学校第７９回演劇発表会が終わりました。これまでの伝統を大切にし、そして新しい歴史を刻むことができた演劇発表会になりました。各学級の演出の生徒が、およそ半年間に渡って取り組んできた活動を振り返り、感想をまとめましたので紹介します。

1日目（10 月 28 日）

①１年５組「グッバイ・マイ」

初めての演劇でしたが、クラスのみんなそれぞれ頑張っていたと思います。本番直前まで脚本を読みセリフを覚え、大道具の調整をおこない、これまでで一番うまくできた演劇になって私はクラス全員が団結したなと実感しました。ハプニングだらけでしたがこのクラスで演劇を完成させることができてすごく嬉しいです。来年もこの経験を生かして賞をとれるようになりたいです。



②２年２組「鬼平あらわる！」



私はこの劇で、クラスの団結力を学びました。私がうまくアイディアを思い浮かばなかった時はクラスメイトで協力し、いいアイディアができたら実行して…。というように全員でいい劇に向かって完成させられたと思います。他のクラスの子から「２年２組の劇、面白かった！」と言われたときは、本当にやってよかったなと思いました。この経験を今後の生活に活かしていきたいです。

③３年６組「心を知らぬ君のために」

日々の練習を毎回全力で頑張っていたと思います。みんなが全力で取り組んだり、一生懸命脚本について考えてくれたりと、言葉では表せないくらいの努力とこれまでにないくらいの団結力、脚本に対しての多様な気持ちが込められたこの劇は、６組にしかできないと思います。６組には感謝しかありません。このクラスで良かったです。



④１年２組「才能屋」



毎日の放課後練習、頑張っていたと思います。本番の劇では大きなハプニングもなくてよかったし、さらに最優秀賞は獲得できなかったけど優秀賞という賞を獲得できました。

この頑張りは１年２組のメンバーみんなが協力できたお陰だと思っています。来年はメンバーが変わってしまうけれども、今回の演劇で学んだことを来年に活かしていきたいです。

⑤２年１組「写真」



今回の演劇発表会では、クラス全員が一致団結して作り上げることのできた劇になりました。時には、意見がまとまらず伸び悩んだ時期もありましたが、互いの意見を尊重しあい、一つの意見にまとめたことで、より良いものに仕上げられました。全員が劇に本気で取り組んだこの経験を日頃の生活にも活かし、これからもクラス全員で協力しあい様々な困難を乗り越え、充実した毎日を過ごしていきましょう。

⑥３年４組「こころのとびら」



今回の演劇活動ではその場にいるクラスメイトが傍観者となるのではなく、意見を口々に言い合う空間ができました。そのような空間を最大限に生かし、クラスみんなで試行錯誤を繰り返しました。その結果、キャストとスタッフが結びつき、悔いの残らない劇となりました。３年４組で作り上げた「こころのとびら」は３年間の集大成としてふさわしい最高の物語です。

⑦１年６組「PE!PE!PE!PENGUINS!」



最初の舞台稽古では、裏方と連携が取れなくて３０分以上かかってしまっていたけど、練習を重ねるごとに連携も取れていきました。本番では、多少のミスもあったけど最初とは比べ物にならないくらいすごくいい劇にすることができて達成感がすごく込み上げてきました。初めての演劇だったけど１年６組全員でこの劇を作り上げることができて本当に良かったです。

⑧２年６組「ラストチャンスは二度やってくる」



初めの頃はまとまりもなく、完成するのか不安もありましたが、放課後練習を含めてほとんど全員が最後まで練習に参加してくれて、全員でレベルを上げていけたことがとても良かったと思います。また、それは自分自身の大きな力にもなりました。その他の演出なども、自分の考えを見直しながら工夫していけたので、その劇が最優秀賞をいただけてとても嬉しいです。この経験を来年にも活かしていきたいです。

⑨３年５組「青空へつづる手紙」



日々の練習ではキャストと裏方の連携が取れておらず、まとめるのも難しくて不安で毎日が葛藤の日々でした。

しかし本番ではキャストは今までで一番の演技ができて、風船が上がるシーンは練習では成功したことがなかったのですが、きれいに上がったときは達成感がすごく、みんなで喜び合いました。３年５組でしかできないような感動する劇を披露することができて本当に良かったです。

2日目（10月29日）

①１年３組「赤ぞうきんちゃん」



私たちの劇はキャスト、スタッフ、舞台監督、演出のみんなで努力を積み重ねたからこそ完成した劇だと思っています。最初はうまくいかないことがたくさんありました。ですが、日々練習や話し合いを重ねていくうちに団結しようという意思が強くなり、最後にはみんな笑顔で劇を終えることができて、とても嬉しいです。これからもクラスで様々な事に挑戦をしていきたいです。

②２年５組「もしも魔法が使えたら」



約半年もの時間をかけて作ったこの劇は２年５組にしかできないと思います。キャストだけでなくスタッフも係の垣根を超えて相談し、磨き上げてきた劇でした。本番はクラス全体で緊張した雰囲気だったところから演劇を楽しもうというリラックスした雰囲気になっていき、長田中一の行事を楽しめました。その雰囲気が伝わったのか最後には大きな拍手をもらい優秀賞に選んでいただきました。

③３年１組「天国までーアナタ、愛のために死ねますかー」



約半年かけて創り上げた劇は、個性の強いクラスで最初はなかなかまとまりませんでした。暗転や場面転換も多く大変でしたが、たくさんの人たちが協力してくれ、みんなが意見を出し合いながら練習を重ねてきました。キャストだけでなく裏方も含めたクラス全員で一つの劇を完成させ、本番で最高の劇にできたことがすごく嬉しかったです。協力してくれた一組のみんな、先生ありがとうございました！

④１年４組「名探偵は二人ぼっち」



１年４組の感じも残しつつ、物語の雰囲気にも合うように役やセリフを考えました。キャストや照明、音響など合わせるのが難しく、たくさん話し合いをしてタイミングを合わせることができました。そこからみんなで意見を出し合うことやきちんと確認することの大切さを知ることができました。クラスの絆もこの演劇活動でより一層深まったと思うので良かったです。

⑤２年４組「mental health-病識なき人々-」



たくさんの脚本の中からテーマが伝わりやすい脚本を選びました。キャストは役を研究し、スタッフは舞台をよりよく見せる方法を工夫し、みんなで協力して舞台をつくりあげることができました。この演劇を通して仲間の大切さや団結力など、たくさんのことを学べたと思います。全力で楽しんで劇ができました。この経験を活かしていきたいです。

⑥３年３組「銭函まで」

結果につながったのはクラス全員の「最後までやりきる」という気持ちが一つにまとまったからだと思います。場面転換が多く、練習がスムーズに進まず最後の舞台稽古でも完成し切ることができない中、全員が作り上げるという一心で取り組み、最高の舞台を作り上げられたことは３年３組の最高の思い出となったと思います。３年３組本当にありがとう。



⑦１年１組「友情のカンニングペーパー」



この劇は１年１組だからこそできたものだと思います。はじめはどうすればいいかわかりませんでしたが、１年１組らしさを活かし、どうしたら自然になるかなどでたくさんの話し合いをしました。時間を無駄にすることが多かったけど、みんなで問題を協力して解決する大切さがわかりました。これを今後に活かしていきたいです。

⑧２年３組「「転生したら圧倒的主人公だった件」」

練習が始まった頃はみんなの意見がまとまらず、順調に練習が進まないこともあったけど、みんなが一致団結して劇を終えることができてとても良かったです。キャストだけでなく、舞台監督、演出、スタッフ全員が力を合わせてこの舞台を作り上げる事ができて本当に良かったです。この演劇活動を通して、学んだことがたくさんあったので、これからに活かしていきたいです。



⑨３年２組「三流ブルース」



この脚本は３年２組にしかできないくらい、キャストもスタッフも観客のみんなも楽しめるような劇になったと思います。練習が始まった最初の頃はまとめるのが難しく、無駄にした時間のほうが多かったと思います。しかし、改善を重ねるたびにキャストひとりひとりや音響や照明、背景、衣装などのクラスのみんなが劇の演出にこだわるようになり、本番には最高の劇に仕上げることができたのでよかったです。この演劇で学んだクラスの団結力・２組らしさを大切にして今後の学校生活も充実させていきたいです。

